

シダネルとマルタン展

2021年度-

アンリ・ル・シダネル（1862-1939）とアンリ・マルタン（1860-1943）は、共に19世紀末から20世紀前半にフランスで活躍した画家です。フランス各地に拠点を移しながら制作に取り組んでいた二人は、フランス芸術家協会サロンへの出品などを通して親交を深めていきました。共に、印象主義や新印象主義、象徴主義など、同時代のさまざまな表現技法を吸収しながら、幻想的な主題を扱ったり、牧歌的な風景に目を向けたり、生活の情景や身近な人々を親密な情感を込めて描いたり、独自の画風を築き上げていきました。



本展では、アンリ・ル・シダネルの曾孫で美術史家のヤン・ファリノー＝ル・シダネル氏による監修のもと、深い友情で結ばれたシダネルとマルタン、それぞれ独自の表現を探究してゆく二人の道のを辿ります。

作品構成：

- 油彩 約65点
- 紙作品 約10点

主な借用先：

- ヨーロッパの個人コレクションや公立美術館

企画・監修：

- ヤン・ファリノー＝ル・シダネル氏

会期・会場：

2021年度

- ひろしま美術館 ... 2021年9月11日(土)～10月24日(日)

<画像>

左：

アンリ・ル・シダネル (1862-1939)

《ジェルブロワ、テラスの食卓》

1930年

油彩／カンヴァス

100 x 81 cm

フランス・個人蔵

Photo : © Luc Paris

右：

アンリ・マルタン (1860-1943)

《二番草》

1910年

油彩／板

69 x 100 cm

フランス・個人蔵

Photo : ©Archives photographiques Maket Expert

ご注意：掲載されている画像・写真・テキストを含むすべてのコンテンツに関する著作権は株式会社ブレントラストに帰属するか、または使用が許可されており、日本の著作権法および国際条約によって保護されています。特に断り書きのある場合を除き、これらを許可なく利用・複製・再配布・出版することを禁じます。